

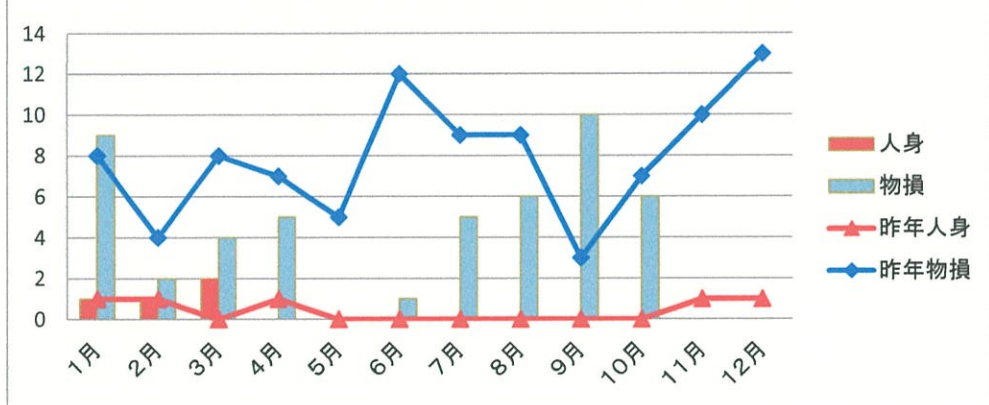
和大学生が当事者となる交通事故件数

10月単月		本年累計		昨年同期		増減率	
人身	物損	人身	物損	人身	物件	人身	物件
0	6	4	48	3	72	33.3%	-33.3%

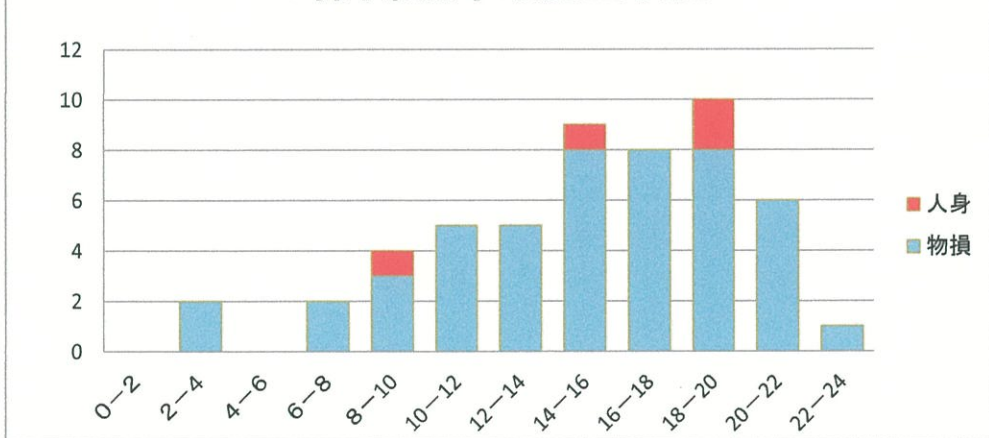
和大学生が当事者となる交通事故の主な概要

事故態様(10月) 赤字が和大学生			
車×壁	後退時に壁に接触	車×車	前車がブレーキをかけたことに気付かず、追突
二輪×車	左カーブで右側に膨らみ対向車と接触		
車×駐車車両	駐車場内での後退時に駐車車両に接触		
車×原付	路外施設から後退し道路に流入した時に南進直進の車と接触		
原付×車	前方の車両に追従走行中、停止したことに気づくのが遅れ、追突		

令和2年中の和大学生が関係する交通事故



時間帯別事故発生状況



<和歌山北警察署より>

10月中は、物損事故が6件で、先月に比べ4件でした。

発生した事故の多くは二輪によるもので、後退時や前方不注視による追突が多く見られました。

雨天時の原付等の二輪運転では、急なブレーキ操作はスリップに繋がるため特に注意が必要ですが、横断歩道や停止線などの道路に標示されている白線も、雨天時は滑りやすくなっているので注意が必要です。

また、原付運転者に多く見られるハーフのヘルメットは、フルフェイスヘルメットと違い、ライナーと呼ばれる目を保護する器具がついていない物が多く、雨天時、目に雨が入るため、視野が下向きになり、前方の危険に気付くのが遅れ事故になるケースがあります。

これから冬にかけ、降雪や路面凍結が発生するため、原付などを運転する際は、無理な運転はしないようにするとともに、天候や気温、路面状況によっては二輪による外出を控えるようにしましょう。